

文学と語学教育

——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析(6)——

松 本 真 治

1. はじめに

文学と語学教育のあり方の方向づけを見据えるために、筆者は2007年度より英米学科新入生を対象に、英米文学と英語学習に関する意識調査をアンケート形式で実施している。2016年度も例年どおり、4月、英米学科1回生必修科目である「英米文学入門1H」(春学期)の第1回目の授業時に調査を実施した。本稿では、この2016年度の調査結果を報告するが、完全自由記述方式の質問項目16)「目標とする英語力はどの程度ですか?そのためにどんな学習が必要だと思いますか?」の結果は割愛し、それ以外の各項目については自由記述を省き、カテゴリカルデータ(順位および頻度)の結果についてのみ報告する。また、量的調査を開始した2008年度から2016年度(秋学期に調査を実施した2013年度を除く)の調査結果を用いて、英米学科新入生の英米文学の作家・作品に関する知識について検討する。

アンケート形式は、基本的には2008年度から採用しているものに2012年度に修正を加えたものを踏襲しているが(Cf. 松本2015)、いくつかの修正点もある。2014年度までは質問項目9)は「英語を習得するためには『読む』という作業は必要だと思いますか?」となっていたが、2015年度より「英語を習得するためには『リーディング(reading/読む)』という作業は必要だと思いますか?」というように文言を修正している。自由記述欄から判断すると、「読む」という作業を筆者の意図している〈読書すること〉ではなく、〈声に出して本を読むこと、つまり音読〉というように解釈している回答者が少なから

ず存在するため、「リーディング」という表記に変更した⁽¹⁾。また、2016年度は、新たに質問項目12)「英語で書かれた Web ページや email を読みますか?」を増やし、あわせて質問項目14)「英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか? 次の選択肢から選んで丸をつけてください」の選択肢に「Web ページ」と「email」をつけ加えた⁽²⁾。

アンケート (2016年度)

1) 学年について

1. 1 回生 2. 2 回生 3. 3 回生 4. 3 回生 (編入生)
5. 4 回生以上 (一つだけ丸をつけてください)

2) 英米文学は勉強すべきだと思いますか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)

3) 英語を読むとき、和訳 (文) は必要ですか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)

4) 英語を読むとき、直読直解 (英語を英語のまま日本語に訳さずに読む) を心がけていますか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)

5) 文学 (日本・外国を問わず) は好きですか? どんな文学ですか? その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない
(一つだけ丸をつけてください)

6) 次の英米の作家・作品について [知っている⇒○／聞いたことはある⇒△／知らない⇒×] をつけてください。

〈省 略〉

7) 映画は好きですか？ どんな映画ですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

8) 日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

9) 英語を習得するためには「リーディング (reading / 読解)」という作業は必要だと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

10) 英語で書かれた本は好きですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

11) 授業以外で英語で書かれたものを读みますか？ その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

12) 英語で書かれた Web ページや email を读みますか？ その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

- 13) 授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？ その理由も書いてください。
1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)
- 14) 英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？ 次の選択肢から選んで丸をつけてください。(複数回答可)
1. 小説 2. 詩 3. 新聞 4. 雑誌 5. ノンフィクション
6. 歴史 7. リーダー [やさしい英語で書き直された本]
8. TOEIC / 英検等の試験対策問題 9. Web ページ 10. email
- 15) 英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？ その理由も書いてください。
1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)
- 16) 目標とする英語力はどの程度ですか？ そのためにどんな学習が必要だと思いますか？
- 17) 英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？ その理由も書いてください。
1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
(一つだけ丸をつけてください)

2. 2016年度アンケート結果

▼表 1-0 実施データ

年 度	実施日	入学者数	授業登録者数	回答者数
2016年度	4月13日	85名	85名	79名

▼表 1-1 ①英米文学は勉強すべきだと思いますか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
28	34	13	4	0
35.4%	43.0%	16.5%	5.1%	0.0%

▼表 1-2 ②英語を読むとき、和訳（文）は必要ですか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
23	29	12	10	5
29.1%	36.7%	15.2%	12.7%	6.3%

▼表 1-3 ③英語を読むとき、直読直解（英語を英語のまま日本語に訳さずに読む）を心がけていますか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
17	28	19	8	6
21.5%	35.4%	24.1%	10.1%	7.6%

▼表 1-4 ④文学（日本・外国は問わず）は好きですか？

好 き	どちらかと言 えば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
15	9	29	18	8
19.0%	11.4%	36.7%	22.8%	10.1%

▼表 1-5 ⑤映画は好きですか？

好 き	どちらかと言 えば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
55	16	3	4	1
69.6%	20.3%	3.8%	5.1%	1.3%

▼表 1-6 ⑥日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？

好 き	どちらかと言 えば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
5	9	27	17	20
6.3%	11.4%	34.2%	21.5%	25.3%

▼表 1-7 ⑦英語を習得するためには「リーディング (reading/読む)」という作業は必要だと思いますか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
67	10	1	0	1
84.8%	12.7%	1.3%	0.0%	1.3%

▼表 1-8 ⑧英語で書かれた本は好きですか？

好 き	どちらかと言 えば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
9	14	39	9	8
11.4%	17.7%	49.4%	11.4%	10.1%

▼表 1-9 ⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか？

日常的に読む	ときどき読む	読まない
3	31	45
3.8%	39.2%	57.0%

▼表 1-10 ⑩英語で書かれた Web ページや email を读みますか？

日常的に読む	ときどき読む	読まない
2	22	55
2.5%	27.8%	69.6%

▼表 1-11 ⑪授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
32	30	13	1	3
40.5%	38.0%	16.5%	1.3%	3.8%

▼表 1-12 ⑫英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
58	15	3	1	2
73.4%	19.0%	3.8%	1.3%	2.5%

▼表 1-13 ⑬英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？

そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
40	23	14	0	2
50.6%	29.1%	17.7%	0.0%	2.5%

▼表 1-14 ⑭英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？
(複数回答可)

小 説	詩	新 聞	雑 誌	ノンフィクション
48	9	23	31	13
60.8%	11.4%	29.1%	39.2%	16.5%
歴 史	リーダー	TOEIC / 英検等	Web ページ	email
6	32	32	7	9
7.6%	40.5%	40.5%	8.9%	11.4%

▼表 1-15 ⑮次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

	知っている	聞いたことはある	知らない
チョーサー	3	7	69
	3.8%	8.9%	87.3%
シェイクスピア	46	28	5
	58.2%	35.4%	6.3%
ミルトン	3	11	65
	3.8%	13.9%	82.3%
ジェイン・オースティン	1	3	74
	1.3%	3.8%	93.7%
ワーズワース	2	9	68
	2.5%	11.4%	86.1%
コールリッジ	0	3	76
	0.0%	3.8%	96.2%
バイロン	3	5	71
	3.8%	6.3%	89.9%
ディケンズ	3	9	67
	3.8%	11.4%	84.8%
ブロンテ姉妹	0	1	78
	0.0%	1.3%	98.7%
ハーディ	2	7	70
	2.5%	8.9%	88.6%
オスカー・ワイルド	3	22	54
	3.8%	27.8%	68.4%
D. H. ロレンス	2	11	66
	2.5%	13.9%	83.5%
ジェイムズ・ジョイス	3	5	69
	3.8%	6.3%	87.3%
T. S. エリオット	3	6	70
	3.8%	7.6%	88.6%
イェイツ	0	2	77
	0.0%	2.5%	97.5%

グレアム・グリーン	1	1	77
	1.3%	1.3%	97.5%
サマセット・モーム	0	3	76
	0.0%	3.8%	96.2%
コンラッド	1	5	73
	1.3%	6.3%	92.4%
ジョージ・オーウェル	5	7	67
	6.3%	8.9%	84.8%
バーナード・ショー	3	3	73
	3.8%	3.8%	92.4%
E. M. フォースター	1	3	75
	1.3%	3.8%	94.9%
ヴァージニア・ウルフ	1	3	75
	1.3%	3.8%	94.9%
エドガー・アラン・ポー	10	13	56
	12.7%	16.5%	70.9%
マーク・トウェイン	3	1	75
	3.8%	1.3%	94.9%
メルヴィル	2	2	75
	2.5%	2.5%	94.9%
ロバート・フロスト	1	8	70
	1.3%	10.1%	88.6%
ヘンリー・ジェイムズ	4	21	53
	5.1%	26.6%	67.1%
フィッツジェラルド	0	1	78
	0.0%	1.3%	98.7%
フォークナー	2	4	73
	2.5%	5.1%	92.4%
ヘミングウェイ	18	24	37
	22.8%	30.4%	46.8%
オー・ヘンリー	5	13	61
	6.3%	16.5%	77.2%

スタインベック	1	5	73
	1.3%	6.3%	92.4%
テネシー・ウィリアムズ	1	7	71
	1.3%	8.9%	89.9%
アーサー・ミラー	4	9	65
	5.1%	11.4%	82.3%
ソール・ベロー	0	4	75
	0.0%	5.1%	94.9%
サリンジャー	2	2	75
	2.5%	2.5%	94.9%
アップダイク	0	0	79
	0.0%	0.0%	100.0%
『ハムレット』	28	24	27
	35.4%	30.4%	34.2%
『マクベス』	10	11	56
	12.7%	13.9%	70.9%
『リア王』	11	11	57
	13.9%	13.9%	72.2%
『オセロー』	10	14	55
	12.7%	17.7%	69.6%
『ロミオとジュリエット』	62	16	1
	78.5%	20.3%	1.3%
『ベニスの商人』	21	23	35
	26.6%	29.1%	44.3%
『自負と偏見』	1	5	73
	1.3%	6.3%	92.4%
『オリバー・ツイスト』	0	9	69
	0.0%	11.4%	87.3%
『クリスマス・キャロル』	20	29	30
	25.3%	36.7%	38.0%
『荒地』	5	15	58
	6.3%	19.0%	73.4%

『ジェイン・エア』	0	2	76
	0.0%	2.5%	96.2%
『嵐が丘』	6	7	66
	7.6%	8.9%	83.5%
『ガリバー旅行記』	43	26	10
	54.4%	32.9%	12.7%
『ドリアン・グレイの肖像』	2	5	72
	2.5%	6.3%	91.1%
『ダーバヴィル家のテス』	0	2	77
	0.0%	2.5%	97.5%
『チャタレイ夫人の恋人』	6	5	68
	7.6%	6.3%	86.1%
『闇の奥』	2	2	75
	2.5%	2.5%	94.9%
『月と六ペンス』	1	2	75
	1.3%	2.5%	94.9%
『ユリシーズ』	0	1	77
	0.0%	1.3%	97.5%
『インドへの道』	0	4	75
	0.0%	5.1%	94.9%
『ダロウェイ夫人』	3	0	75
	3.8%	0.0%	94.9%
『第三の男』	2	4	73
	2.5%	5.1%	92.4%
『怒りのぶどう』	2	3	74
	2.5%	3.8%	93.7%
『マイ・フェア・レディ』	5	7	67
	6.3%	8.9%	84.8%
『白鯨』	6	14	59
	7.6%	17.7%	74.7%
『モルグ街の殺人』	1	3	75
	1.3%	3.8%	94.9%

『老人と海』	6	9	64
	7.6%	11.4%	81.0%
『武器よさらば』	1	2	76
	1.3%	2.5%	96.2%
『ハックルベリィ・フィンの冒険』	2	5	72
	2.5%	6.3%	91.1%
「賢者の贈り物」	3	6	70
	3.8%	7.6%	88.6%
「最後の一葉」	5	2	71
	6.3%	2.5%	89.9%
『デージー・ミラー』	1	3	75
	1.3%	3.8%	94.9%
『響きと怒り』	1	1	77
	1.3%	1.3%	97.5%
『はつかねずみと人間』	4	5	70
	5.1%	6.3%	88.6%
『偉大なギャツビー』	2	6	71
	2.5%	7.6%	89.9%
『誰がために鐘は鳴る』	5	5	68
	6.3%	6.3%	86.1%
『ガラスの動物園』	2	3	74
	2.5%	3.8%	93.7%
『セールスマンの死』	0	4	75
	0.0%	5.1%	94.9%
『ライ麦畑で捕まえて』	9	20	50
	11.4%	25.3%	63.3%
『風と共に去りぬ』	15	16	47
	19.0%	20.3%	59.5%

※無回答もあり

3. 2016年度アンケート結果の考察

2016年度の結果を全体的に見て、過年度とは明らかに異なる傾向はないようである。2016年度よりつけ加えた項目⑩「英語で書かれた Web ページや email を読みますか？」(表 1-10) であるが、約 7 割の回答者が「読まない」と答えており、項目⑭「英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？」(表 1-14) でも、「Web ページ」「email」を選択した回答者は全体の 1 割程度であり、やや意外な結果であった。というのも、「高等学校学習指導要領解説外国語編」の第 3 章「英語に関する各科目に共通する内容等」では、「手紙や電子メールのやりとり」を言語の使用場面として取り上げることや、「インターネットなどの情報通信ネットワーク」を活用して必要な情報を検索する活動をおこなうことが指摘されているからである (41-42)。ただ、実際に Web ページを読むにしても、高校生にとっては難解な英語で書かれたものが多いかもしれないし、email にしても、英語でやりとりしてくれる相手がいなければ一人では何もできないということがあろう。項目⑩に対して「ときどき読む」と答えた回答者のうち 3 名は、自由記述欄に〈海外・外国の友人とメールをする〉との趣旨のことを書いている。一方「読まない」と答えた回答者のうち 43 名が自由記述欄に記入をしており、その自由記述は二つに大別することができる。〈機会がない〉〈見たことがない〉との趣旨の記述が 30 名、〈難しい〉〈わからない〉〈読めない〉との趣旨の記述が 13 名となっている。

4. 英米学科新入生の英米文学の作家・作品に関する知識

英米学科新入生の英米文学の作家・作品に関する知識は乏しいというのは、これまでも報告してきたとおりである。ここでは 2008 年度から 2016 年度 (2013 年度を除く) の調査結果をもとに、どの作家・作品がどの程度英米学科新入生に知られているのかを報告する。アンケート調査では「知っている」

「聞いたことはある」「知らない」の三択方式で回答を求めているが、とうぜんのことながら「知っている」と「聞いたことはある」の判断は回答者の主観にもとづくものであり、その信憑性は確かに疑わしい。そこでここでは「知らない」と回答した人数から検討する。

2013年度を除いた2008年度から2016年度の計8年間で、無回答を含めて653名が回答しており、この数を分母として各作家・作品について「知らない」とした回答者の比率をまとめたものが以下の表である（表2-1）。参考のために、年度単位の最低の比率と最高の比率もつけ加えている⁽³⁾。

▼表2-1 2008～2012、2014～2016年度（総回答者数：653人）

作家名	知らない		
	比 率	年度別	
		最低値	最高値
シェイクスピア	2.0%	0.0%	6.3%
ヘミングウェイ	40.3%	29.4%	50.0%
オスカー・ワイルド	70.9%	62.4%	83.3%
ミルトン	72.9%	56.2%	83.3%
エドガー・アラン・ポー	73.5%	58.7%	88.1%
オー・ヘンリー	73.7%	67.6%	84.5%
ヘンリー・ジェイムズ	78.6%	67.1%	82.7%
チョーサー	79.0%	67.4%	87.3%
ディケンズ	82.7%	76.0%	91.2%
D. H. ロレンス	83.2%	76.4%	89.3%
アーサー・ミラー	83.9%	76.5%	91.7%
バイロン	86.2%	80.9%	90.5%
バーナード・ショー	86.8%	81.3%	92.4%
ジョージ・オーウェル	87.4%	84.3%	92.9%
テネシー・ウィリアムズ	87.6%	80.9%	96.4%
T. S. エリオット	87.6%	82.0%	94.0%
フォークナー	87.6%	83.8%	92.4%
ジェイムズ・ジョイス	90.0%	86.7%	94.1%

ジェイン・オースティン	90.5%	84.3%	95.2%
ロバート・フロスト	90.7%	84.7%	95.2%
ブロンテ姉妹	90.8%	78.7%	98.7%
ワーズワース	90.8%	86.1%	95.2%
ハーディ	91.7%	88.6%	93.3%
メルヴィル	93.1%	88.2%	97.6%
サリンジャー	93.7%	88.0%	98.8%
ヴァージニア・ウルフ	93.7%	89.7%	96.5%
フィッツジェラルド	94.2%	88.8%	98.7%
マーク・トウェイン	94.3%	89.9%	97.6%
コンラッド	94.3%	86.7%	96.6%
E. M. フォースター	94.9%	90.7%	98.8%
スタインベック	95.4%	92.4%	100.0%
グレアム・グリーン	96.6%	95.2%	97.8%
コールリッジ	96.8%	95.3%	98.5%
イェイツ	96.9%	92.9%	100.0%
ソール・ベロー	97.2%	92.6%	100.0%
サマセット・モーム	97.5%	94.1%	100.0%
アップダイク	98.0%	95.5%	100.0%

作品名	知らない		
	比 率	年度別	
		最低値	最高値
『ロミオとジュリエット』	0.9%	0.0%	2.2%
『ガリバー旅行記』	9.6%	2.9%	14.6%
『ハムレット』	17.5%	9.4%	34.2%
『風と共に去りぬ』	34.9%	17.6%	59.5%
『ベニスの商人』	36.6%	26.7%	47.6%
『クリスマス・キャロル』	37.8%	25.3%	52.4%
『ライ麦畑で捕まえて』	60.0%	49.4%	69.1%
『リア王』	61.1%	52.8%	73.8%
『老人と海』	70.8%	60.7%	83.3%

『マクベス』	72.4%	65.2%	78.6%
『マイ・フェア・レディ』	76.1%	56.2%	88.1%
『オセロー』	77.0%	65.3%	86.5%
『誰がために鐘は鳴る』	78.1%	69.7%	86.1%
『オリバー・ツイスト』	80.2%	68.5%	92.9%
『嵐が丘』	83.0%	69.7%	96.4%
『荒地』	83.2%	73.4%	89.3%
『白鯨』	83.9%	73.5%	91.7%
『チャタレイ夫人の恋人』	85.8%	80.0%	90.5%
『武器よさらば』	89.4%	84.3%	96.2%
『自負と偏見』	89.4%	85.3%	96.4%
『第三の男』	89.9%	87.1%	92.9%
『偉大なギャツツビー』	91.0%	76.0%	97.8%
「賢者の贈り物」	91.0%	87.1%	98.8%
『はつかねずみと人間』	91.3%	88.6%	95.2%
『モルグ街の殺人』	91.6%	88.8%	94.9%
『ハックルベリィ・フィンの冒険』	92.3%	88.0%	97.6%
「最後の一葉」	92.5%	89.9%	96.4%
『怒りのふどう』	93.7%	89.9%	97.6%
『インドへの道』	94.0%	88.2%	96.4%
『ドリアン・グレイの肖像』	94.3%	91.1%	96.5%
『ダロウェイ夫人』	95.3%	92.9%	98.5%
『デイジー・ミラー』	96.5%	91.2%	97.8%
『ガラスの動物園』	96.5%	93.7%	100.0%
『ジェイン・エア』	96.6%	94.0%	100.0%
『闇の奥』	96.6%	94.1%	98.8%
『セールスマンの死』	96.6%	94.4%	98.8%
『ユリシーズ』	96.9%	95.2%	98.8%
『月と六ペンス』	96.9%	93.3%	100.0%
『ダーバヴィル家のテス』	97.4%	95.6%	100.0%
『響きと怒り』	98.0%	96.6%	100.0%

作家・作品に関して「知らない」と回答した比率の低いものから列挙してみたが、作家ではシェイクスピアの知名度は他の作家の追隨を許さない。全体としてはわずかに2.0%が「知らない」と答えており、年度によっては「知らない」と答えた回答者がゼロのときもある。シェイクスピアに次いで知名度の高いヘミングウェイにしても、40.3%が「知らない」と回答している。シェイクスピアを「知らない」と答えた回答者の比率が6.3%でもっとも高かったのが2016年度であるが、実数としては79名中5名が「知らない」と答えたにすぎない。シェイクスピアとヘミングウェイを除くと、他の作家については7割以上の回答者が「知らない」と答えている。オスカー・ワイルド、ミルトン・エドガー・アラン・ポーは年度によっては6割程度の回答者にとっては聞いたことのない名前、つまり4割程度にとっては最低でも聞いたことのある名前であるが、それでもヘミングウェイには及ばない（ワイルドは童話、ポーは推理小説の分野でも有名のはずであろう。ポーと言えば、日本の推理作家、江戸川乱歩の名前の由来である）。

作品については、『ロミオとジュリエット』の知名度が群を抜いている。2011年度に2.2%が「知らない」と回答しているが、実数としては89名中わずか2名である。次いで『ガリバー旅行記』の知名度が高いが、これは言うまでもなく童話としてもよく知られている。そして『ハムレット』『風と共に去りぬ』『ベニスの商人』『クリスマス・キャロル』が続く。『風と共に去りぬ』は年度によって知名度が大きく異なるようで、2009年度は17.6%（85名中15名）が「知らない」と回答したのだが、2015年度は52.0%（75名中39名）、2016年度は59.5%（79名中47名）とここ2年間は半数以上が「知らない」と回答しており、映画で一世風靡したのも昔のことになりつつあるのであろうか。

作家と比べると作品の方が知名度の高いものがはるかに多いかと思われたが、必ずしもそうではないようである。とりわけ意外なところでは、『ライ麦畑で捕まえて』の知名度が低く、5割から6割の回答者が「知らない」という結果である。他にも『偉大なギャッツビー』など、知名度の高いと思われる作品が一覧に含まれていると思ったが、それは英米文学を専門にする者の独りよがりであったようである。

※本稿は、大学英語教育学会（JACET）関西支部・文学教育研究会2016年4月例会（4月16日、同志社大学今出川キャンパス）における口頭発表をもとにしている。

注

- (1) 松本（2016）の表7では「⑦英語を習得するためには『読む』という作業は必要だと思いますか？」となっているが（3）、正しくは「⑦英語を習得するためには『リーディング（reading／読む）』という作業は必要だと思いますか？」である。
- (2) 第11回佛教大学・ハワイ大学学術会議（2016年2月26日、ハワイ大学マノア校）での口頭発表において、現在では英語で読むものは書物や雑誌に限られているわけではないというアドバイスを受け、2016年度より質問項目を修正した。
- (3) 表2-1の元データは部分的にすでに公開しているものもあるが、以下のとおりである。

▼表2-2 次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

年 度	2008	2009	2010	2011	2012	2014	2015	2016
回答者数	84	85	89	89	68	84	75	79

チ ョ ー サ ー

	知 っ て い る	聞 い た こ と は あ る	知 ら な い
2008年度	5	13	66
2009年度	2	16	67
2010年度	7	15	66
2011年度	9	20	60
2012年度	5	6	56
2014年度	3	10	71
2015年度	6	8	61
2016年度	3	7	69

『ハムレット』

	知 っ て い る	聞 い た こ と は あ る	知 ら な い
2008年度	26	45	13
2009年度	34	43	8
2010年度	32	37	19
2011年度	39	39	11
2012年度	18	35	13
2014年度	30	42	12
2015年度	31	33	11
2016年度	28	24	27

シェイクスピア

2008年度	44	39	1
2009年度	53	32	0
2010年度	50	38	0
2011年度	55	33	1
2012年度	36	28	4
2014年度	51	31	2
2015年度	47	28	0
2016年度	46	28	5

ミルトン

2008年度	1	13	70
2009年度	3	24	58
2010年度	5	16	67
2011年度	7	32	50
2012年度	6	13	48
2014年度	4	15	65
2015年度	5	17	53
2016年度	3	11	65

ジェイン・オースティン

2008年度	0	5	79
2009年度	0	6	79
2010年度	3	10	75
2011年度	1	13	75
2012年度	2	3	62
2014年度	0	4	80
2015年度	1	7	67
2016年度	1	3	74

ワーズワース

2008年度	0	4	80
2009年度	0	6	79
2010年度	0	6	82
2011年度	2	7	80
2012年度	1	7	59
2014年度	0	6	78
2015年度	4	3	67
2016年度	2	9	68

『マクベス』

2008年度	4	17	63
2009年度	6	17	62
2010年度	14	16	58
2011年度	9	16	63
2012年度	6	11	50
2014年度	8	9	66
2015年度	11	9	55
2016年度	10	11	56

『リア王』

2008年度	11	25	48
2009年度	15	24	46
2010年度	16	25	47
2011年度	15	27	47
2012年度	10	10	47
2014年度	10	12	62
2015年度	19	10	45
2016年度	11	11	57

『オセロー』

2008年度	3	13	68
2009年度	4	14	67
2010年度	3	8	77
2011年度	4	19	66
2012年度	7	9	51
2014年度	2	12	70
2015年度	12	14	49
2016年度	10	14	55

『ロミオとジュリエット』

2008年度	63	21	0
2009年度	63	22	0
2010年度	68	20	0
2011年度	70	17	2
2012年度	58	9	1
2014年度	62	21	1
2015年度	59	15	1
2016年度	62	16	1

コールリッジ

2008年度	0	2	82
2009年度	0	4	81
2010年度	1	2	85
2011年度	0	3	86
2012年度	0	0	67
2014年度	0	2	82
2015年度	0	2	73
2016年度	0	3	76

バイロン

2008年度	2	6	76
2009年度	4	12	69
2010年度	4	5	79
2011年度	4	13	72
2012年度	2	8	57
2014年度	4	6	74
2015年度	2	8	65
2016年度	3	5	71

ディッケンズ

2008年度	1	11	72
2009年度	4	10	71
2010年度	4	15	69
2011年度	6	15	68
2012年度	1	4	62
2014年度	5	5	74
2015年度	2	16	57
2016年度	3	9	67

ブロンテ姉妹

2008年度	7	7	70
2009年度	0	4	81
2010年度	2	16	70
2011年度	1	6	82
2012年度	1	3	63
2014年度	2	3	78
2015年度	2	2	71
2016年度	0	1	78

『ペニスの商人』

2008年度	15	34	35
2009年度	13	36	36
2010年度	21	42	25
2011年度	23	42	24
2012年度	20	23	24
2014年度	15	29	40
2015年度	25	30	20
2016年度	21	23	35

『自負と偏見』

2008年度	2	9	73
2009年度	3	4	78
2010年度	2	10	76
2011年度	4	9	76
2012年度	3	6	58
2014年度	0	3	81
2015年度	0	6	69
2016年度	1	5	73

『オリバー・ツイスト』

2008年度	6	16	62
2009年度	6	20	59
2010年度	10	17	61
2011年度	7	10	71
2012年度	4	5	57
2014年度	1	5	78
2015年度	5	3	67
2016年度	0	9	69

『クリスマス・キャロル』

2008年度	12	35	37
2009年度	11	41	33
2010年度	19	42	27
2011年度	20	35	34
2012年度	18	26	23
2014年度	12	28	44
2015年度	22	34	19
2016年度	20	29	30

ハーディ

2008年度	1	5	78
2009年度	0	7	78
2010年度	1	4	83
2011年度	1	5	83
2012年度	1	4	62
2014年度	2	4	78
2015年度	0	8	67
2016年度	2	7	70

オスカー・ワイルド

2008年度	2	22	60
2009年度	3	29	53
2010年度	6	16	66
2011年度	3	25	61
2012年度	6	12	49
2014年度	3	11	70
2015年度	2	22	50
2016年度	3	22	54

D. H. ロレンス

2008年度	1	8	75
2009年度	2	12	71
2010年度	3	12	73
2011年度	3	18	68
2012年度	2	8	57
2014年度	1	7	75
2015年度	2	14	58
2016年度	2	11	66

ジェイムズ・ジョイス

2008年度	0	5	79
2009年度	0	11	74
2010年度	1	6	80
2011年度	1	5	83
2012年度	0	3	64
2014年度	1	8	74
2015年度	1	8	65
2016年度	3	5	69

『荒地』

2008年度	1	8	75
2009年度	3	8	74
2010年度	0	10	78
2011年度	2	16	70
2012年度	4	5	57
2014年度	2	7	73
2015年度	5	12	58
2016年度	5	15	58

『ジェイン・エア』

2008年度	1	2	79
2009年度	1	1	83
2010年度	1	3	84
2011年度	0	2	87
2012年度	1	2	64
2014年度	1	0	83
2015年度	0	0	75
2016年度	0	2	76

『嵐が丘』

2008年度	6	12	66
2009年度	6	16	63
2010年度	4	22	62
2011年度	4	6	79
2012年度	1	9	57
2014年度	2	1	81
2015年度	1	6	68
2016年度	6	7	66

『ガリバー旅行記』

2008年度	36	35	11
2009年度	36	42	7
2010年度	40	35	13
2011年度	50	35	4
2012年度	37	29	2
2014年度	42	31	11
2015年度	41	29	5
2016年度	43	26	10

T. S. エリオット

2008年度	1	4	79
2009年度	2	9	74
2010年度	1	14	73
2011年度	1	13	75
2012年度	2	4	61
2014年度	2	10	72
2015年度	4	3	68
2016年度	3	6	70

イエイツ

2008年度	0	1	83
2009年度	1	5	79
2010年度	1	1	86
2011年度	0	3	86
2012年度	1	1	65
2014年度	0	0	84
2015年度	2	0	73
2016年度	0	2	77

グレアム・グリーン

2008年度	0	3	80
2009年度	0	4	81
2010年度	0	1	87
2011年度	0	3	86
2012年度	0	1	66
2014年度	0	2	82
2015年度	1	2	72
2016年度	1	1	77

サマセット・モーム

2008年度	0	2	82
2009年度	0	2	83
2010年度	1	1	86
2011年度	0	1	88
2012年度	0	3	64
2014年度	0	0	84
2015年度	0	1	74
2016年度	0	3	76

『ドリアン・グレイの肖像』

2008年度	1	1	80
2009年度	2	1	82
2010年度	1	2	85
2011年度	0	7	82
2012年度	2	3	62
2014年度	1	2	81
2015年度	0	3	72
2016年度	2	5	72

『ダーバヴィル家のテス』

2008年度	0	2	81
2009年度	0	0	85
2010年度	0	1	87
2011年度	0	3	86
2012年度	2	0	65
2014年度	0	1	82
2015年度	1	1	73
2016年度	0	2	77

『チャトレイ夫人の恋人』

2008年度	2	7	75
2009年度	5	11	69
2010年度	3	11	74
2011年度	2	8	78
2012年度	4	3	60
2014年度	3	5	76
2015年度	3	11	60
2016年度	6	5	68

『闇の奥』

2008年度	0	1	83
2009年度	0	1	84
2010年度	0	4	84
2011年度	0	3	85
2012年度	1	2	64
2014年度	0	1	83
2015年度	0	2	73
2016年度	2	2	75

コンラッド

2008年度	1	2	81
2009年度	0	4	81
2010年度	0	2	86
2011年度	0	3	86
2012年度	0	3	64
2014年度	0	4	80
2015年度	2	8	65
2016年度	1	5	73

ジョージ・オーウェル

2008年度	0	5	78
2009年度	0	12	73
2010年度	2	9	77
2011年度	1	13	75
2012年度	0	5	62
2014年度	3	6	75
2015年度	2	9	64
2016年度	5	7	67

バーナード・ショー

2008年度	0	12	72
2009年度	4	7	74
2010年度	3	10	75
2011年度	2	13	74
2012年度	1	4	62
2014年度	4	4	76
2015年度	4	10	61
2016年度	3	3	73

E. M. フォースター

2008年度	0	1	83
2009年度	0	4	81
2010年度	0	3	85
2011年度	3	4	82
2012年度	2	1	64
2014年度	1	1	82
2015年度	2	5	68
2016年度	1	3	75

『月と六ペンス』

2008年度	0	0	84
2009年度	1	0	84
2010年度	1	4	83
2011年度	0	2	86
2012年度	0	0	67
2014年度	0	1	83
2015年度	1	3	71
2016年度	1	2	75

『ユリシーズ』

2008年度	1	3	80
2009年度	0	1	84
2010年度	0	2	86
2011年度	0	3	86
2012年度	0	1	66
2014年度	1	1	81
2015年度	1	1	73
2016年度	0	1	77

『インドへの道』

2008年度	0	2	81
2009年度	0	4	81
2010年度	0	4	84
2011年度	0	5	84
2012年度	2	5	60
2014年度	1	2	80
2015年度	0	6	69
2016年度	0	4	75

『グロウエイ夫人』

2008年度	1	3	80
2009年度	1	4	79
2010年度	0	5	83
2011年度	1	3	85
2012年度	0	0	67
2014年度	0	1	80
2015年度	0	2	73
2016年度	3	0	75

ヴァージニア・ウルフ

2008年度	1	3	78
2009年度	0	2	82
2010年度	0	3	85
2011年度	0	6	83
2012年度	2	4	61
2014年度	1	3	80
2015年度	2	5	68
2016年度	1	3	75

エドガー・アラン・ポー

2008年度	3	7	74
2009年度	4	11	70
2010年度	10	12	66
2011年度	8	19	62
2012年度	6	9	52
2014年度	13	15	56
2015年度	16	15	44
2016年度	10	13	56

マーク・トウェイン

2008年度	2	4	78
2009年度	1	4	80
2010年度	4	4	80
2011年度	3	2	84
2012年度	1	1	65
2014年度	0	2	82
2015年度	1	2	72
2016年度	3	1	75

メルヴィル

2008年度	0	4	79
2009年度	1	6	78
2010年度	0	5	83
2011年度	1	4	84
2012年度	2	5	60
2014年度	0	2	82
2015年度	0	7	67
2016年度	2	2	75

『第三の男』

2008年度	1	7	76
2009年度	2	8	74
2010年度	2	8	78
2011年度	1	7	81
2012年度	0	6	61
2014年度	0	4	78
2015年度	1	8	66
2016年度	2	4	73

『怒りのふどう』

2008年度	0	2	82
2009年度	1	4	80
2010年度	2	6	80
2011年度	0	7	82
2012年度	2	2	63
2014年度	1	1	82
2015年度	0	6	69
2016年度	2	3	74

『マイ・フェア・レディ』

2008年度	7	13	64
2009年度	5	21	59
2010年度	9	29	50
2011年度	10	12	67
2012年度	2	8	56
2014年度	3	7	74
2015年度	5	10	60
2016年度	5	7	67

『白鯨』

2008年度	2	5	77
2009年度	1	9	74
2010年度	1	7	80
2011年度	3	11	75
2012年度	4	12	50
2014年度	2	6	76
2015年度	0	18	57
2016年度	6	14	59

ロバート・フロスト

2008年度	0	4	80
2009年度	2	11	72
2010年度	1	7	80
2011年度	1	5	83
2012年度	3	3	61
2014年度	0	7	76
2015年度	1	4	70
2016年度	1	8	70

ヘンリー・ジェイムズ

2008年度	0	15	69
2009年度	1	17	67
2010年度	1	13	72
2011年度	0	19	70
2012年度	0	14	53
2014年度	1	16	67
2015年度	2	11	62
2016年度	4	21	53

フィッツジェラルド

2008年度	1	1	81
2009年度	1	5	79
2010年度	4	4	79
2011年度	0	5	84
2012年度	1	2	64
2014年度	0	1	82
2015年度	2	5	68
2016年度	0	1	78

フォークナー

2008年度	0	10	74
2009年度	2	11	72
2010年度	1	10	77
2011年度	0	8	81
2012年度	2	8	57
2014年度	2	10	72
2015年度	1	8	66
2016年度	2	4	73

『モルグ街の殺人』

2008年度	0	6	78
2009年度	2	5	78
2010年度	3	5	80
2011年度	0	10	79
2012年度	1	4	62
2014年度	4	3	77
2015年度	2	4	69
2016年度	1	3	75

『老人と海』

2008年度	10	21	51
2009年度	9	21	55
2010年度	13	19	55
2011年度	9	20	60
2012年度	8	10	49
2014年度	5	9	70
2015年度	6	11	58
2016年度	6	9	64

『武器よさらば』

2008年度	1	3	80
2009年度	1	9	74
2010年度	6	7	73
2011年度	0	14	75
2012年度	1	4	62
2014年度	0	5	79
2015年度	0	10	65
2016年度	1	2	76

『ハックルベリィ・フィンの冒険』

2008年度	3	2	79
2009年度	1	1	83
2010年度	4	5	79
2011年度	1	2	86
2012年度	4	3	60
2014年度	1	4	78
2015年度	5	4	66
2016年度	2	5	72

ヘミングウェイ

2008年度	13	34	37
2009年度	18	42	25
2010年度	26	33	28
2011年度	20	36	33
2012年度	10	25	33
2014年度	15	27	42
2015年度	16	31	28
2016年度	18	24	37

オー・ヘンリー

2008年度	1	12	71
2009年度	4	18	63
2010年度	5	21	62
2011年度	5	21	63
2012年度	5	16	46
2014年度	4	19	61
2015年度	4	17	54
2016年度	5	13	61

スタインベック

2008年度	0	0	84
2009年度	2	3	79
2010年度	0	2	86
2011年度	1	5	83
2012年度	2	1	64
2014年度	1	1	82
2015年度	2	1	72
2016年度	1	5	73

テネシー・ウィリアムズ

2008年度	1	5	78
2009年度	1	13	70
2010年度	1	10	76
2011年度	1	16	72
2012年度	1	7	59
2014年度	1	2	81
2015年度	1	9	65
2016年度	1	7	71

「賢者の贈り物」

2008年度	1	7	75
2009年度	0	10	74
2010年度	1	5	81
2011年度	2	6	81
2012年度	2	3	61
2014年度	1	0	83
2015年度	2	4	69
2016年度	3	6	70

「最後の葉」

2008年度	3	2	79
2009年度	3	5	77
2010年度	3	4	80
2011年度	4	3	82
2012年度	2	2	62
2014年度	3	0	81
2015年度	2	1	72
2016年度	5	2	71

『デージー・ミラー』

2008年度	1	1	82
2009年度	1	2	82
2010年度	0	1	87
2011年度	1	1	87
2012年度	2	3	62
2014年度	1	1	82
2015年度	0	2	73
2016年度	1	3	75

『響きと怒り』

2008年度	0	0	83
2009年度	0	0	85
2010年度	0	1	87
2011年度	1	2	86
2012年度	0	0	67
2014年度	1	1	82
2015年度	0	0	73
2016年度	1	1	77

アーサー・ミラー

2008年度	1	5	77
2009年度	3	13	68
2010年度	0	16	72
2011年度	1	13	75
2012年度	5	10	52
2014年度	1	6	77
2015年度	2	11	62
2016年度	4	9	65

ソール・ペロー

2008年度	0	0	84
2009年度	0	2	83
2010年度	0	2	86
2011年度	0	3	86
2012年度	0	4	63
2014年度	0	0	84
2015年度	1	0	74
2016年度	0	4	75

サリンジャー

2008年度	0	5	79
2009年度	2	4	79
2010年度	3	4	81
2011年度	0	2	87
2012年度	2	3	62
2014年度	0	1	83
2015年度	1	8	66
2016年度	2	2	75

アップダイク

2008年度	0	1	83
2009年度	1	1	83
2010年度	0	3	85
2011年度	0	1	87
2012年度	0	0	67
2014年度	0	0	84
2015年度	1	1	72
2016年度	0	0	79

『はつかねずみと人間』

2008年度	2	2	80
2009年度	0	6	79
2010年度	3	5	79
2011年度	0	10	79
2012年度	1	4	61
2014年度	0	4	80
2015年度	1	5	68
2016年度	4	5	70

『偉大なギャツピー』

2008年度	1	2	81
2009年度	0	4	81
2010年度	3	1	84
2011年度	0	2	87
2012年度	0	1	65
2014年度	5	10	68
2015年度	2	15	57
2016年度	2	6	71

『誰がために鐘は鳴る』

2008年度	4	11	68
2009年度	3	13	69
2010年度	7	19	62
2011年度	6	20	63
2012年度	3	12	52
2014年度	3	8	72
2015年度	4	14	56
2016年度	5	5	68

『ガラスの動物園』

2008年度	0	0	84
2009年度	1	3	81
2010年度	0	1	86
2011年度	0	4	85
2012年度	1	1	65
2014年度	0	1	82
2015年度	0	1	73
2016年度	2	3	74

『セールスマンの死』

2008年度	0	1	83
2009年度	0	4	81
2010年度	0	3	84
2011年度	0	3	86
2012年度	0	1	66
2014年度	2	0	82
2015年度	1	0	74
2016年度	0	4	75

『ライ麦畑で捕まえて』

2008年度	6	21	56
2009年度	7	30	48
2010年度	10	30	48
2011年度	8	37	44
2012年度	9	12	47
2014年度	6	20	58
2015年度	7	26	41
2016年度	9	20	50

『風と共に去りぬ』

2008年度	20	45	19
2009年度	25	44	15
2010年度	24	36	28
2011年度	25	40	23
2012年度	15	28	24
2014年度	14	36	33
2015年度	10	25	39
2016年度	15	16	47

※無回答もあり

引用文献

- 松本真治（2015）「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析（4）」佛教大学『文学部論集』第99号 57-72頁
- 松本真治（2016）「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析（5）」佛教大学英文学会『英文学論集』第23号 1-11頁
- 文部科学省（2010）『高等学校学習指導要領解説外国語編・英語編』開隆堂